

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(宇治山田商業高校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		校訓「健康明朗 自律協同 誠実勤勉」のもと、 自立を促し、変化する実社会で活躍できる基礎を育む学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○自他を尊重し、規範意識を大切にする人間性豊かな生徒 ○自己実現に向けて主体的・創造的・積極的に挑戦し、活力ある姿勢や態度を有する生徒 ○探究的な学習、地域や国際交流活動等を通して「企画力」「調整力」「実践力」「突破力」「地域への貢献力」等を備えている生徒
	ありたい教職員の姿	○高いコンプライアンス意識を有し、信頼ある教育活動を実践する教職員 ○目指す学校像の実現に向け、生徒の多様な力を伸長するため、絶えざる自己改革に努力を惜しまない教職員 ○生徒数が減少する南勢地域において、本校の魅力の更なる特色化に向け、情報共有と相互支援を行う教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	(生徒) 自己実現できる進路指導(就職・進学) 学習、部活動ともに充実した学校生活 (保護者) 安全・安心な学校生活と子どもの進路希望(就職・進学)実現 部活動や学校行事をはじめとした特別活動の充実ときめ細やかな生徒指導 (地域) 地域社会に貢献、中核として活躍できる生徒の育成と本校の魅力の更なる向上	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	(家庭) 進路状況など学校情報の提供 (中学校) 生徒の志望に係わる学校情報の提供 (地域社会) 地域活性化に向けた活動や地元での就職の推進	(家庭) 協働できる体制の確立 (中学校) 体験入学や学校行事等を通じた交流の推進、適正に応じた進路指導 (地域社会) 地元事業所からの適切な情報提供
(3)前年度の学校関係者評価など	・探究的な学習については、地域との連携をさらに推し進め、積極的に取り組んでいく必要がある。 ・交通事故防止に向けた啓発活動や、ヘルメット着用の推進の取り組みを引き続き行っていく必要がある。 ・進学、就職において概ね進路実現ができています。次年度も生徒一人ひとりに応じた進路指導に取り組んでほしい。	

(4)現状と課題	教育活動	○ 文武両道の理念のもと、ICT機器等を活用した多様な教育活動を積極的に推進し、生徒が自ら課題を発見し解決方法を模索する「探究的な学び」の活動を重視しながら、充実した高校生活の実現に努めている。 ○ 地域と連携した教育活動や国際交流活動に継続的に取り組み、SDGsの視点を持った地域リーダーの育成に向けた教育活動を計画的に実施する必要がある。
	学校運営等	○ 3学科の魅力について再確認するとともに、地域唯一の商業高校として本校の強みや育みたい生徒像を内外に発信し、開かれた学校づくりを実現するため、広報活動の充実を図った。今後も継続して本校の魅力発信に努める必要がある。 ○ 地域に根差した「信頼される学校」として、引き続き、教職員がコンプライアンス意識を高め、生徒・保護者等関係者の声に耳を傾けながら、風通しの良い学校に向けて取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	○ 生徒の自主性、主体性、創造性を育み、積極的に自己を高めていくため、ICT機器の効果的な活用による学習活動の工夫や学校行事、部活動の振興等を通じ、人間性豊かで活力に満ちた学校生活の実現に努める。 ○ 地域との連携を通じた教育活動を充実させ、生徒の課題解決力や探究力、自己表現力の向上や、キャリア教育の更なる充実を図るとともに、生徒の希望・適性に応じた進路実現につなげ、地域社会の発展に貢献できる自立した人材を輩出する商業高校を目指す。
学校運営等	○ 絶えざる自己変革（「学校力」・「教師力」・「生徒の人間力」の向上）を図るため、情報共有に努め、全教職員の授業公開実施などを通じ授業改善に取り組む。 ○ 多様な学習成果の評価手法について組織的に研究を深め、授業改善に取り組む。 ○ ICTを活用した教育を推進し効果的な教育活動を実現するとともに、総勤務時間の削減に努める。 ○ 多様で国際的な交流を通して異文化理解を深め、国際理解教育を推進する。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	○ 学習意欲が高く、入学後も目標達成に向けた努力を継続できる生徒 ○ 探究活動に意欲的に取り組むことができる生徒 ○ スポーツ・文化活動やボランティア活動、生徒会活動等に意欲をもって取り組む姿勢を有する生徒 ○ 学科の特性を生かして、大学進学や就職等の進路希望を実現しようとする生徒
---------------------------------	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教育課程	○ 授業時間の確保と授業の質的向上に努め、適正な行事の時間を確保しながら、生徒の学力向上に努め、生徒・保護者の満足度を高める。 【活動指標】 ・ 各分掌、各学年等の年間計画を総合的に実施しながら、随	(年度末および適宜記載)	※

学習指導	時改善に努める。 【成果指標】 ・ 生徒アンケート等による成果と課題の検証 年2回 ○ 授業内容の充実を図り、生徒の学習意欲や学力の向上、進路実現に努める。 ○ 各教科の学習到達目標の作成や評価手法の充実・改善とともに評価規準の適性化を図り、指導と評価の一体化に取り組む。 ○ 生徒の学習・生活状況の実態を把握するための調査を実施し、生徒理解に生かす。 ○ オンライン教育や、授業におけるICT機器の利活用による効果的な学習指導に努める。 ○ 課題発見・探究型の授業を通じて、主体的に学びに向かう力を育成する。 【活動指標】 ・ 引き続きオンライン教育を推進し、「学びの継続」に取り組む ・ 日本商工会議所簿記検定2級、基本情報処理試験に挑戦する生徒を増やす。 ・ 英語セミナーを実施し、英語運用能力の向上を図り、英語の上級検定取得に挑戦する。 ・ 情報セミナーの見直し、充実を図り、国家資格合格への支援に取り組む。 ・ 個々の生徒の希望と学びの進度に合わせた補習授業を適宜実施し、幅広い学力層に対応する。 【成果指標】 ・ 授業公開による授業力向上に取り組む 全教員1回以上（各期間中に、他教科教員の授業を1回以上参観し、意見交換を行う。） ・ 「日商簿記検定2級」合格率 45%以上 ・ 「情報処理国家資格」合格 25名以上 ・ CEFR A2 中程度～B1 程度の検定取得 50名以上（「実用英検2級」及び「実用英検準1級」、「TOEIC L&R 600点以上」、「GTEC（アセスメント版含む）930点以上」等）		※
キャリア教育	○ 3年間の系統的なキャリア教育を通じて、職業観・勤労観、主体性、コミュニケーション力等を育成する。 ○ 個々の生徒の適性・ニーズに応じた進路実現に努める。 【活動指標】 ・ 定期的に「進路だより」を発行し、学校HPで公開する。 ・ 年間8回以上の進路講話（1年生2回、2年生3回、3年生3回）を体系的に実施する。 ・ 全職員による小論文指導を実施する。 ・ 1年次に企業見学（12月）と地元企業説明会（2月）を実施する。 ・ 2年次にジョブシャドウイング・大学見学（10月）を実施する。		※

生徒指導	・ 3年次に全職員による面接指導（夏期休業明け）を実施する。 【成果指標】 ・ 国公立・難関私立大学延べ合格者数 10名以上 ・ 民間企業等就職内定率 100% ○ 「これからの予測不可能な社会に出ても活躍できる」を指導の規準とし、自主自立を促す。 ○ いじめ防止や交通安全指導等、学校内外の物理的・精神的な安全・安心確保に努める。 ○ 集団生活を通して他者や多様性を尊重する心や、生徒自身がルールやマナーを理解し、主体的に守ろうとする規範意識を醸成する。 ○ 生徒会や委員会活動、学校行事を通して、生徒が自発的に思考したり、選択したりする機会を創出し、主体性や創造性、積極性を育む。 ○ 文武両道を推進し、部活動の振興を図る。 【活動指標】 ・ 定期的に全校集会や学年集会を開催し、集団生活での気付きやルール・マナー遵守の大切さを促す。 ・ 全教職員による玄関指導を通年で実施し、挨拶・身だしなみ・時間管理の大切さを実感させるとともに、自主自立を促す。 ・ 交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守に努めるよう指導する。 ・ SNSの適切な使い方等に関する教育に取り組む。 ・ 生徒会活動や代議員会、学校行事等の生徒主体活動の活性化を図り、更なる創意工夫と実態に即した改善を行う。 ・ いじめの未然防止のためのアンケートによる実態把握やいじめの適切な認知と迅速かつ適切な対応を心掛ける。 ・ 高校生の犯罪行為のトレンドを情報収集・把握し、未然防止に努める（闇バイトや薬物乱用等）。 ・ 私物や貴重品の管理を徹底させ、自己管理能力を養うとともに盗難防止等に努め、学校の安全・安心確保に繋げる。 ・ 表彰式や壮行会を定期的に開催し、生徒の自発的な活動を評価したり、後押ししたりすることで自己肯定感を養う。 ・ 【成果指標】 ・ 自転車事故件数 年間0件 ・ 交通安全委員による交通安全啓発活動 学期1回以上 ・ 生徒会による「挨拶運動」を実施 年間20回以上 ・ 創意工夫や改善に取り組んだ生徒会活動 年間2回 ・ 学校生活アンケート 学期に1回以上 ・ いじめ対策アドバイザーとの連携 年5回以上 ・ 全校講話 学期1回以上 ・ 学年講話 学期2回以上 ・ 情報共有・創意工夫・改善のための部会 週1回 ・ 担任との連絡会 週1回		※
------	--	--	---

安全・安心な学校づくり	- 各講話（交通安全・SNS、薬物等） 各年1回以上 - 表彰式（壮行会） 学期1回以上 ○ 自他を尊重し、命を大切にする態度を育成するため、あらゆる機会を通じて生命尊重の教育を推進する。 ○ スクールカウンセラーとの連携を図り、相談体制の更なる充実を目指す。 ○ 環境整備の充実を図るため、ゴミの減量・分別と清掃指導の徹底に努める。 ○ 全教職員の熱中症への対応力を高める。		◎
人権教育	【活動指標】 - 学校教育活動全体を通じて「命を大切にする教育」を実施し、取組内容を充実する。 - 教員の指導力向上を図るとともに生徒にとってより活用しやすい教育相談体制を充実させる。 - 学校環境デーなどの取組みを通じて、環境美化、節電、ゴミ減量・削減に努める。 - 感染症予防に努め、生徒自身の健康管理意識を高めるとともに、手洗い、手指・器具消毒などを徹底する。 【成果指標】 「命を大切にする教育」に係る講演会の実施 年1回 - 保健講話（熱中症講演会）の実施 年1回 - 高校生活セルフチェックにおいて「不安や辛さあるいは怒りなどを感じる」生徒の割合 昨年同時期より減 ○ 差別やいじめを許さない学校づくりをめざし、日常からの取組を推進する。 ○ 「三重県人権教育基本方針」に基づいた人権教育カリキュラムを見直すとともに、実効あるものとするための総合的・系統的な推進体制の構築に努める。 ○ 教職員の人権感覚を高め、生徒一人ひとりの人格を尊重した生徒支援に努める。 【活動指標】 - 入学から卒業まで、3年間を通した体系的な学習となるよう計画立案する。 「個別の人権問題」に係る講演会の実施 年1回 【成果指標】 - 人権教育カリキュラムに基づいた取組を、全学年で各学期1回以上実施する。 - 人権問題に関する職員研修会を学期1回以上実施する。		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	○ 信頼される学校であるために、教職員の規範意識および服務規律の確立に努める。 ○ 危機管理意識の高揚及び防災教育の推進に努める。 ○ 法令・法規を遵守し、過重労働の削減に努める。 【活動指標】 ・ 学校信頼向上委員会を定期的に開催するとともに、コンプライアンス研修等を通じて、学校全体で組織的に学校信頼向上に取り組む。 ・ 「校内ネットワーク」の積極的な活用により、効率的な教職員間の「情報の共有」に努める。 ・ 定時退校日、部活動休養日等を設定して時間外労働を削減する。 ・ 議題説明時間の短縮により、会議時間の効率化を図る。 ・ 機械警備を適切に運用するため、戸締り、窓閉め、消灯などを徹底する。 ・ 公文書管理規程に基づき適切な文書管理を行う。 【成果指標】 ・ 年 360 時間を超える時間外労働者数 0 人 ・ 月 45 時間を超える時間外労働者延べ人数 0 人 ・ 1 人当たりの年間休暇取得率 70%以上 ・ 一人当たりの月平均時間外等在校時間 20 時間以下 ・ 定時退校日（月 2 回）できた職員の割合 90%以上 ・ 部活動休養日（週 1 回）できた部活の割合 95%以上 ・ 放課後 60 分以内に終了した会議の割合 85%以上 ・ 校舎施錠不備（委託業者施錠）回数 年 3 回以内 ・ 公文書の保存状況確認回数 年 2 回 ・ セルフチェックシートを活用した振り返り 年 3 回	(年度末および適宜記載)	※
情報提供	○ 開かれた学校づくりを実現するため、特色・魅力ある教育の情報発信（広報活動）の充実を図る。 【活動指標】 ・ 公開授業、公開講座を開催する。 ・ 報道機関等への資料提供、地域・中学校への学校 Web ページ等を活用した情報発信に努め、受検生の増加を図る。 【成果指標】 ・ 公開授業の実施 年 2 回以上 ・ 学校 Web ページ等の充実・更新 年 140 回以上 ・ 新聞記事等への掲載回数 年 20 回以上 ・ 公開授業・公開講座参加者アンケート満足度 85%以上		※

改善課題	
(年度末に記載)	

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末に記載)
学校運営について の改善策	(年度末に記載)